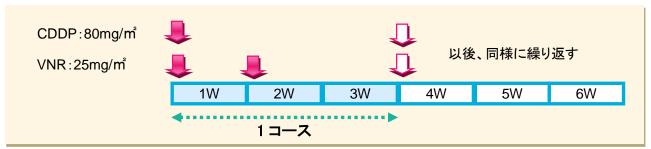
対象疾患: 非小細胞肺癌 stage Ⅱ、ⅢA 術後補助化学療法

## 【0701】CDDP+VNR 療法

# 【投与スケジュール】1コース=21日(計4コース)



### 【投与日のタイムテーブル】

## (Day0~3)

滴下順	薬品名	用量	投与時間	Day0	1	2	3
主管	ソルデム 1 500mL	3P	持続	1			
滴下順	薬品名	用量	投与時間		1		
主管 ①②	生理食塩液 1000mL	2P	持続		$\downarrow$		
内服	アプレピタント 125mg	1カプセル	シスプラチン開始 60~90 分前		<b>↓</b>		
側管①	マンニットール 300mL	1V	30 分		$\downarrow$		
	アロキシ(0.75)	1V					
側管②	デカドロン(3.3)	3A	30 分		1		
	生理食塩液 100mL	1V					
側管③	シスプラチン	80mg/m <sup>²</sup>	2 吐眼				
	生理食塩液	300mL	2 時間		Ţ		
側管④	フロセミド	0.5A	5分		_		
	生理食塩液 50mL	1V	277		1		
側管⑤	ナベルビン	25mg/m <sup>²</sup>	全開で		1		
	生理食塩液 50mL	1V	主用で				
滴下順	薬品名	用量	投与時間			2	3
主管 ①23	KN3 号 500mL	3P	持続			↓	Ţ
内服	アプレピタント 80mg	1カプセル	午前中			$\downarrow$	1
内服	デカドロン錠 0.5mg	16 錠(1 回 8 錠)	分2 朝昼食後			1	<b>1</b>

## (Day8)

滴下順	薬品名	用量	投与時間	Day8	Day21	
1	生理食塩液 50mL	1V	ルート確保	1		
2	ナベルビン	25mg/m <sup>²</sup>	全開で	1	休 薬 完 ア	
	生理食塩液 50mL	1V	土用で			
3	生理食塩液 250mL	1V	フラッシュ	1	,	

#### 【催吐性リスク】

シスプラチン:高度 ナベルビン:軽度

### 【組織障害性】

シスプラチン:炎症性 ナベルビン:壊死性

#### 【注意事項】

(シスプラチン)

□ 光に対して不安定なため、直射日光を避け、点滴時間が 6 時間を超える場合は遮光して投与すること 腎毒性軽減のため、十分な量の補液が必要である。尿量や体重の変動に注意し、必要に応じ利尿剤を追加すること

(ナベルビン)

□ 静脈炎発症予防のためにも、10分以内に投与を終了することが望ましい。また、投与後は補液等により薬液を十分に洗い流す

レジメン登録承認	2014年12月4日 化学療法委員会
参考資料	日本肺癌学会 肺癌診療ガイドライン 2013 年版 病理病期 I・II・III A期 術後補助化学療法